

令和 2（2020）年度

樹木調査 中間報告書
(第一四半期)

令和 2 年 7 月

広島県緑化センター

1. 年度計画

今年度の調査範囲及び調査想定本数

- ・ 広場建物回り [REDACTED] . . . 約 [REDACTED] 本
- ・ 主園路 [REDACTED] . . . 約 [REDACTED] 本
- ・ 東山作業路（R1 年度未実施分） . . . 約 [REDACTED] 本
- ・ 遊歩道（R1 年度未実施分） . . . 約 [REDACTED] 本

2. 調査結果

令和 2（2020）年 4 月～6 月までに実施した調査結果を以下に示す。

1) 調査場所と本数

場所	調査本数	内訳 樹種別本数							
		スギ	マツ	サウ	モミジ	ケヤキ	クスノキ	広葉樹	針葉樹
東山作業路	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

2) 判定結果

判定 区分	枝		主幹		うち緊急性◎			
					枝		主幹	
判定 1	[REDACTED]	0%	[REDACTED]	2%	[REDACTED]	0%	[REDACTED]	0%
判定 2	[REDACTED]	1%	[REDACTED]	26%	[REDACTED]	—	[REDACTED]	—
判定 3	[REDACTED]	99%	[REDACTED]	72%	[REDACTED]	—	[REDACTED]	—
判定 4	[REDACTED]	0%	[REDACTED]	0%	[REDACTED]	0%	[REDACTED]	0%
合計	[REDACTED]		[REDACTED]		[REDACTED]	0%	[REDACTED]	0%

判定 1 通常時での倒木・枝落下の恐れがある（伐採又は支柱等の検討措置）

判定 2 今すぐ倒木が発生する危険性は少ないが、今後の注意を要する（要観察）

判定 3 直ちに倒木の発生につながる異常は認められない

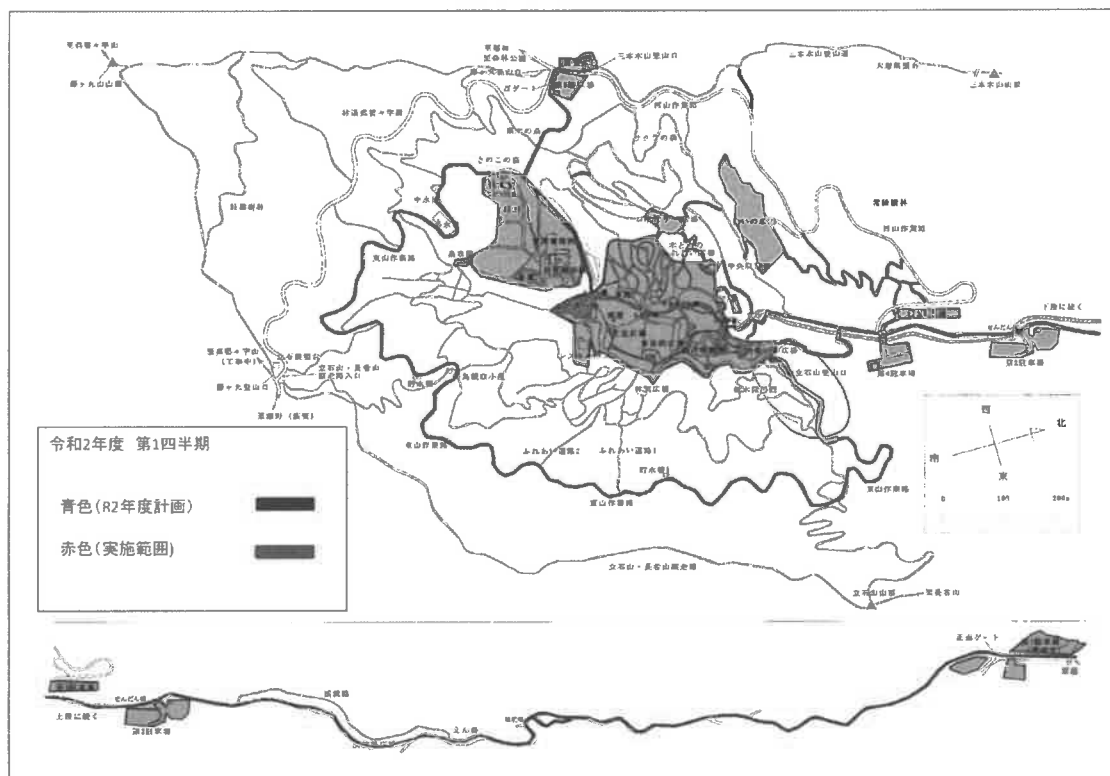
判定 4 簡易調査では、倒木の発生の恐れが判定し難いもの

（更なる詳細調査が必要であるため県と要相談）

緊急性◎とは、要即対応のものを示す。

3. 今年度調査予定範囲と第1四半期実施範囲

下図に示す（青色線が計画範囲、赤色線が実施範囲）。



4. 要対応木と処置状況

令和元年度 1/4 半期において、調査の結果対応が必要とされた樹木の本数と、6 月末時点での処置状況を示す。今期の調査では、処置の緊急性の高い危険木はなかった。

1) 要剪定樹木と処置結果

調査の結果、剪定が必要と判断された樹木の本数と、6 月末現在の処置状況を示す。

範囲	調査本数	要剪定本数	処置本数	処置率
東山作業路	■■■■■	0	—	—

2) 要伐採樹木と処置結果

調査の結果、伐採が必要と判断された樹木の本数と、6月末現在の処置状況を示す。

範囲	調査本数	要伐採本数	処置本数	処置率
東山作業路		6	2	33%

3) 計画伐採樹木と処置結果

調査の結果、計画伐採（将来的に伐採が適当）と判断された樹木の本数と、6月末現在の処置状況を示す。

範囲	調査本数	計画伐採本数	伐採済本数
東山作業路		4	0

添付資料

- ・調査範囲図
- ・調査日報
- ・業務写真集